

W杯開催のスタジアムが…… - 西日本防災システム

2014 02 15

2月15日、ロイター通信によりますと、2014年W杯で日本対コロンビア戦などが行なわれるクイアバのスタジアムが、昨年10月25日にメインスタンドの地下部分で発生した火災によりかなり深刻な被害を負っている可能性のあることが分かったようです。

マットグロッソ州のクイアバに位置するアリーナ・パンタナールでは日本戦のほか、チリ対オーストラリア戦、ロシア対韓国戦など4試合が行なわれる予定だそうですが、昨年10月火災が発生。地元警察は放火と推測していますが、原因はまだ特定されていません。

マットグロッソ州はこれまで火災によるダメージはさほど大きくはないとの見解を示していましたが、同州の独立司法機関Ministerio Publicoは、火災により**構造上の損傷**が発生し、構造物全体の安全性に危険が生じる可能性があるとの報告書をまとめているそうです。この報告書は12月にスタジアム建設を監督する同州のW杯事務局に提出され、これまで公開されてはいませんでしたが、同機関が『ロイター通信』に閲覧を許可したものだそうです。

同機関Ministerio Publicoは20日に、現場の追加調査を行なうとしているようですが、今回報告書の開示に踏み切ったのは、州当局の協力と透明性を求めていることだとコメントしていて、スタジアムの安全性が完全に保証されるまで、試合を許可することはできないとも語っているそうです。

この件についてFIFA(国際サッカー連盟)の担当者は15日、火災による構造上の損傷が生じている可能性について「認識していない」と語っていて、最近自ら独自に行なった調査では深刻な影響は確認されなかったと述べているそうです。報告書で指摘された内容についてはダブルチェックを行なう意向だとしているそうです。

ほんとに大勢の観客で溢れ、ひとたび異常事態が発生すれば、悲惨な状況に陥ることは明白ですので、くれぐれも安全確認を御願い致します。

過去の火災 →



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ →